

新しい図書館の 実施設計ができました

市ホームページにも、詳しく掲載しています。

■新図書館整備室(内線378)



新しい図書館の基本方針

- ★**知の拠点**として県民市民を支える図書館
- ★**全ての県民市民**がサービスを利用できる図書館
- ★**県民市民と共に創る**図書館
- ★**出逢いにあふれる**楽しい図書館
- ★**未来を創造する礎**を築く図書館
- ★**郷土の歴史と文化に親しみ、活用及び振興する**図書館

「長崎県立・大村市立一体型図書館及び大村市歴史資料館」(仮称)の建物の最終的な設計図書となる実施設計が9月に完了しました。

建物は、多良岳を背景とした扇状地に呼応するよう低層で緩やかな形状で整備し、敷地全体として、周辺地域や風景と調和が図られるように設計されています。

今後は、この設計図書に基づいて、新しい図書館の建設工事に着手します。



建物内部のようす(1階メインエントランスからのイメージ)



▲建物外観のようす(北西側からのイメージ)

◆建築概要

建設地…大村市東本町513ほか

地域地区…準防火地域

用途地域…商業地域

敷地面積…16,223.52㎡

法定建ぺい率…80%

法定容積率…400%

建築面積…4,874㎡

延べ床面積…13,269.51㎡

1階…こどもしつ、多目的ホール、市歴史資料館など

2階…学習スペース、研修室、会議室など

3階…一般図書開架スペース、新聞・雑誌コーナーなど

4階…資料閲覧スペースなど

5階…書庫(2・4・5階に設置)など

6階…機械・電気室

構造…鉄骨造

最高の高さ…22.8m

駐車台数…206台

建設工事…平成29年度～30年度(予定)

◆まちの賑わいを創出

賑わいを創出する広いエントランスや多目的ホール、憩いの空間となる広場を設け、各種イベントを開催するなど、人々が集える場を提供します。新たなランドマークとなる一体型図書館を、市民交流プラザ、コレモおおむらなどとともに地域の核となる場にする事で、中心市街地に賑わいを創出します。

◆県立・市立一体型の図書館

県立図書館と市立図書館の施設区分のない一つの図書館として整備します。

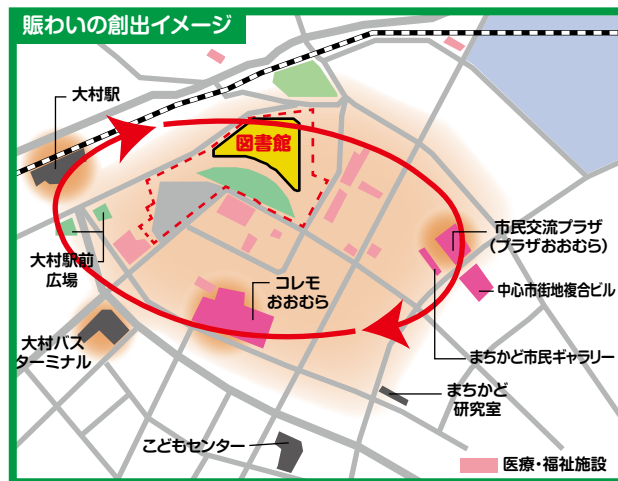
収蔵能力約202万冊を有し、県民市民のニーズに応えます。

◆サイン

誰もが見やすくわかりやすい案内表示で、スムーズに目的の場所に行くことができるよう工夫します。

◆ユニバーサルデザイン

フロアに段差がなくエレベーターでの移動ができ、多機能・子ども用のトイレや授乳室の設置など、安心して利用できる施設にします。内部は吹き抜けのある大空間で、来館者の視認性と利便性を確保します。



実施設計説明会を開催します

新しい図書館と市歴史資料館(仮称)の建物の設計について、市民の皆さんに説明します。

【とき・ところ】

11月12日(土)、午後7時～8時30分…市コミセン

11月13日(日)、午後2時～3時30分…郡コミセン

■新図書館整備室(内線378)



一般図書開架スペース(3階のイメージ)